

市議会

だより

目次

- 定例会の概要 2
- 市長所信表明 3
- 議案等審議結果 4
- 就任あいさつ 5
- 議会構成 5
- 代表質問 6~8
- 一般質問 9~12
- スーシティ市来訪 12
- 委員会報告 13~15
- 議会活動日誌・編集後記 16

歳入歳出予算にそれぞれ1億6,917万8千円を追加し、総額を歳入歳出それぞれ231億2,240万5千円とする一般会計補正予算など19案件を可決しました。



令和5年6月4日 「山梨市駅」甲府エリア開業120周年記念イベント

JR東日本八王子支社が、甲府エリア（塩山～小淵沢間）の開業120周年を記念して、山梨市駅にて記念イベントを開催しました。イベントでは、山梨市立つつじ幼稚園の園児や市内高校生などによる楽器の演奏やダンスが披露されました。

6月定例会の概要

市長から提案された条例改正、令和5年度一般会計補正予算などの審議を行いました。

による管理運営を可能とするため、条例の一部を改正しようとするものです。

議案第52号

専決処分の承認を求めることについて（山梨市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について）

地方税法施行令の一部改正に伴い、国民健康保険税の課税限度額の引上げ及び低所得者に対する軽減措置の対象となる世帯の軽減判定所得基準の見直しなど、条例の一部を改正する専決処分の承認を求めるものです。

議案第60号

令和5年度山梨市一般会計補正予算（第2号）

歳入歳出予算にそれぞれ、1億6,917万8千円を追加し、総額を231億2,240万5千円にするものです。これは、電力・ガス等のエネルギー価格の高止まりによる事業者の負担軽減を図るために必要な経費と、総務費、民生費、農林水産業費、土木費、消防費、教育費及び予備費に関連する事業の補正予算です。主なものとして、電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金を財源とする事業者支援として、医療機関、旅館・公衆浴場及び上水道等の地方公営企業の事業者に対して5,727万円余を支援し、残余する7,709万円余を、今後の情勢に素早く機動的に対応するため予備費に計上するものです。総務費では、関係人口創出事業及び国際交流事業の追加で合計348万円です。

民生費では、窪平保育園の敷地斜面崩落対策に伴う岩手保育園との合同保育実施事業665万円余です。衛生費では、猫の不妊・去勢手術費の助成事業235万円余です。農林水産業費では、農地中間管理機構を通じて賃貸借する農地の再生作業事業費の追加300万円、認定新規就農者に対する初期投資促進事業1,340万円余です。土木費では、山梨市駅南地域整備事業における、集落遺跡の本掘調査実施による事業費の組替え及び財源更正です。消防費では、救急安心センター導入による運営負担金24万円余です。教育費では、通級指導教室の増設事業、スクールバスの児童置き去り防止として安全装置設置事業及び地区公民館エリアコン整備事業の合計339万円余です。

議案第53号

専決処分の承認を求めることについて（令和5年度山梨市一般会計補正予算（第1号））

歳入歳出予算にそれぞれ2億22万7千円を追加し、総額を歳入歳出それぞれ229億5,322万7千円にする専決処分の承認を求めるものです。

これは、本年3月28日に閣議決定された国の予備費を活用し、新型コロナウイルス感染症及び原油価格・物価高騰対策として行う支援事業のための補正予算です。具体的には、国の要請に基づき実施される、令和5年度住民税非課税世帯への1世帯当たり3万円の給付金、また、低所得の子育て世帯に対し、児童一人あたり5万円の給付と、県の上乗せ分の5万円を加えた計10万円を給付するための予算を追加するものです。

議案第59号

山梨市花かげの郷まきおか「鼓川温泉」設置及び管理条例等の一部を改正する条例について

「鼓川温泉」「花かげの湯」「みとみ笛吹の湯」について、指定管理者

高木市長の所信表明（6月定例会）

おもな事業の報告

●第3回全国桃サミット in やまなしの開催について

日本桃産地協議会の主催による「第3回全国桃サミット in やまなし」が、本年7月6日から7日の2日間、フルーツパーク富士屋ホテルをメイン会場として開催されます。これは、全国の桃の産地が相互に連携して、桃の消費拡大や海外輸出の調査・研究を目的に行われているものです。今回は、特に米国産桃の輸入解禁要請があったことを受け、これらに対応するための情報収集や課題等の意見交換を行い、一致結束して取り組んでいきます。米国産桃の輸入問題に関しては、本市を含めた全国の桃産地に共通する課題であるため、今回のサミットが有益なものとなるよう、ホスト市として鋭意取り組んでいきます。

●自治体DXの推進について

国において、昨年末に「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を変更し、新たに「デジタル田園都市国家構想総合戦略」を策定しました。社会情勢がこれまでとは大きく変化している中、地方の活力を生む原動力として、デジタルの活用を国は強力に進めようとしており、デジタルを新しい付加価値を生み出す源泉と位置付けています。特に、G7先進7か国首脳会議でも議題となった、チャットGPTを代表とする「対話型生成AI」などの技術革新は目覚ましく、これらは行政事務の効率化に繋がる可能性があるのと同時に、個人情報漏洩や著作権の侵害の恐れがあることなどが指摘されているため、使用方法の研究やルールづくりに関して、様々

なりスクを想定する中で、庁内専門チームを編成して取り組んでいます。

●森林整備協定と包括連携協定について

「ライオン山梨の森」として、ライオン株式会社、峡東森林組合、及び公益財団法人オイスカと、本市との間で締結している森林整備協定に関して、第5期協定として、4月13日に内容を更新して締結しました。今回は、これまでの整備面積の約10倍までに大幅拡大し、29,671㎡もの面積を整備するとともに、年間100万円の寄付もいただける内容となっています。包括連携協定については、2つの民間事業者と締結することができました。一つ目は、3月15日に締結した株式会社クスリのサンロードとの包括連携協定です。本協定では、地域の活性化、防災支援、健康増進等の実現に向け、災害時における食料品や、子ども向けの生活必需品の提供、栄養管理専門官の派遣などを行っていただく内容です。また、コロナ対策として、ワクチン接種促進活動や医療品提供体制の構築に加え、若者育成の観点から、小・中・高校生などを対象に職場体験学習なども、積極的に行っていただけることとなりました。更に、企業版ふるさと納税による100万円のご寄付もいただきました。二つ目として、去る5月18日に、本市の安全・安心なまちづくりと市民サービスの向上を目指し、大塚製薬株式会社との間で包括連携協定を締結しました。この協定では、本市と相互連携を行い、市民の健康増進や防災支援など、民間事業者が持つ知見を生かした取組みを推進することを目的としています。具体的には、健康教

室への講師の派遣や、市民の健康づくり、介護予防に関する取組み、災害時における市民の健康保持などで包括連携することとしています。特に、この協定では、改正気候変動適応法の成立を受け、今後、地方公共団体に対策が求められる「熱中症」に関する支援を盛り込んだことに大きな特徴があります。今年度の取組みとして、まずは熱中症対策のアンバサダーの養成と、熱中症対策に関する市民への啓発と対策の普及を促進していきたいと考えています。

●重層的支援体制整備事業について

本事業は、国からの交付金を活用し、子ども、障害者、高齢者、生活困窮者など、既存の相談支援体制を生かしつつ、更に横断的な連携機能を強化することで、何層にも重なった支援を行う体制づくりを行うものです。住民の複雑かつ複合化した支援ニーズに対応できるよう、「属性を問わない相談支援」や「参加支援」、「地域づくりに向けた支援」を一体的に実施する、「包括的な支援体制」を構築していきます。本市では、令和4年度から、国の補助事業を取り入れて準備を進めており、令和6年度の本格実施を目指しています。既に、庁内における検討会議とワーキンググループを設置し、既存事業の整理を行っています。併せて、庁内連携体制の構築の検討と、既存の相談支援機関をサポートする「多機関協働の取組み」も行いながら、事業実施に向けて、鋭意取り組んでいます。本事業の推進により、属性や世代を問わない重層的なサービスネットワークの構築を行うことで、住民福祉の向上に努めていきたいと考えています。

令和5年6月定例会議案等審議結果

6月定例会議案等審議結果（議長を除く）

（賛：原案に賛成 反：原案に反対 棄：棄権）

議案 番号	議員名 件名	木内	村田	宮川	遠山	萩原	深沢	糠信	藤巻	星野	古屋	三枝	武井	土屋	矢崎	小野	岩崎	向山	審議 結果
		健司	浩	真有	雄二	弥香	敏彦	平	豊彦	洋	弘和	正文	寿幸	裕紀	和也	鈴枝	友江	輝	
第50号	専決処分の承認を求めることについて（山梨市税条例の一部を改正する条例について）	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	承認
第51号	専決処分の承認を求めることについて（山梨市都市計画税条例の一部を改正する条例について）	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	承認
第52号	専決処分の承認を求めることについて（山梨市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について）	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	承認
第53号	専決処分の承認を求めることについて（令和5年度山梨市一般会計補正予算（第1号））	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	承認
第54号	山梨市諏訪財産区管理会条例について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第55号	山梨市西保財産区管理会条例について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第56号	山梨市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第57号	山梨市手数料条例及び山梨市印鑑条例の一部を改正する条例について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第58号	山梨市乾徳公園設置及び管理条例及び山梨市観光駐車場設置及び管理条例の一部を改正する条例について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第59号	山梨市花かけの郷まきおか「鼓川温泉」設置及び管理条例等の一部を改正する条例について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第60号	令和5年度山梨市一般会計補正予算（第2号）	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第61号	令和5年度山梨市水道事業会計補正予算（第1号）	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第62号	令和5年度山梨市簡易水道事業会計補正予算（第1号）	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第63号	日下部分団第3部消防ポンプ自動車購入契約について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第64号	山梨市教育委員会委員の任命について同意を求める件	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	同意
第65号	山梨市諏訪財産区管理会財産区管理委員の選任について同意を求める件	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	同意
第66号	山梨市西保財産区管理会財産区管理委員の選任について同意を求める件	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	同意
第67号	山梨市監査委員の選任について同意を求める件	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	同意
諮問 第1号	人権擁護委員候補者の推薦について意見を求める件	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	認 適 任 と 認 め る

新しい議会構成決まる

議長に土屋裕紀氏・副議長に萩原弥香氏

令和5年6月定例会において、正副議長の選挙が行われました。

その結果、土屋裕紀議員（上栗原）が第17代議長に、萩原弥香議員（一町田中）が第18代副議長にそれぞれ当選し、就任しました。

各常任委員会、議会運営委員会及び組合議会議員の構成は下表のとおりです。

土屋裕紀議長は当選3期目で副議長などを、萩原弥香副議長は当選2期目で建設経済常任委員会副委員長などを歴任しました。

議会選出の

監査委員に

星野 洋 議員

議会選出の監査委員として星野洋議員（山根）の選任に同意しました。



星野 洋 議員



萩原弥香 副議長

就任 あいさつ



土屋裕紀 議長

6月定例会最終日、議員各位のご推挙とご賛同による指名推薦を頂き、議長に就任致しました。山梨市合併後の第十七代目、歴代議長の皆様から見るとまだまだ若輩では御座いますが市民の代表である議会の長として、その職務の重責さを更に自覚し、市政発

展に向けて取り組む所存で御座います。議会運営においては、継続した議会改革の推進に加え、これまでの慣例や役職の在り方などを今一度確認し、市民の皆様が開かれた議会を目指します。私自身子育て中であり、子供達と触れ合うことが多いことから、次世代を担う若人を対象に「政治を身近に自分事として考える」主権者教育にも取り組む考えでおります。これら実現の為、萩原副議長と協力し議員間の活発な討議を励行しながら進めて参りたいと思っております。市民の皆様のご指導ご鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。

この度、6月議会において、議員各位よりご推挙頂き、指名推選で副議長に就任させて頂きました。市民の皆様の声を市政にお届けすると共に、又市民の皆様の代弁士と選出なされている議員各位との議員間議論も活発に充実させるべく努力して参ります。土屋議長の目指される議会運営と推進に、微力ではございますが一つ一つ丁寧に取り組み務めさせていただきます。今後とも尚一層の御指導、御鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

◎委員長 ○副委員長

◆総務常任委員会

◎岩崎友江 ○遠山雄二
土屋裕紀 藤巻豊彦
木内健司 村田 浩

◆建設経済常任委員会

◎武井寿幸 ○宮川真有
萩原弥香 星野 洋
古屋弘和 小野鈴枝

◆教育民生常任委員会

◎矢崎和也 ○向山 輝
深沢敏彦 糠信 平
三枝正文

◆議会運営委員会

◎小野鈴枝 ○向山 輝
三枝正文 武井寿幸
矢崎和也 岩崎友江

◆組合議会議員

〈東山梨行政事務組合議会議員〉
萩原弥香 宮川真有 遠山雄二
星野 洋 武井寿幸 小野鈴枝
村田 浩 岩崎友江

〈峡東地域広域水道企業団議会議員〉
深沢敏彦 藤巻豊彦
三枝正文 矢崎和也

〈山梨県後期高齢者医療広域連合議会議員〉
土屋裕紀

〈甲府・峡東地域ごみ処理施設事務組合議会議員〉

古屋弘和 向山 輝

市議会では、所属政党や主義主張を同じくする議員が集まって会派を結成し、活動を行っています。山梨市議会では左記の会派等が結成されています。
(○は会派代表者)

令和の風	日本共産党	公明党	市民クラブ	尚志会	新翔会
○古屋弘和	○糠信 平	○木内健司 萩原弥香	○村田 浩 小野鈴枝 深沢敏彦	○向山 輝 岩崎友江 星野 洋 藤巻豊彦	○矢崎和也 武井寿幸 三枝正文 土屋裕紀 遠山雄二 宮川真有

市民クラブ

深沢 敏彦 議員



問 アザレアタウン地域の整備について

①個人説明会で示した事業プランの概要、地権者の意向状況及び課題について。②今後の事業スケジュールについて。③北中学校東通り線の整備概要及び整備スケジュールについて。

市長 高木晴雄

答 ①事業期間は令和6年度から概ね10年、概算事業費は約70億円、平均減歩率は約42%である。説明会を欠席した地権者には、個別訪問し、プランを説明し、8割を超える方々から「賛成」の意向を確認できた。一方で、農業継続の希望者からは、農地面積の縮小に伴う収入減の懸念や減収補償の要望の意見があった。②国

庫補助制度を活用し事業調査を実施し、令和6年度に予定している土地区画整理事業の知事認可と組合設立に向けて、準備委員会と共に事業計画を策定し、同意の取得を行う。国庫補助金の採択を受けるため、都市再生整備計画の策定を行う。③本路線は2期に分けて整備する予定で、第1期は市役所前通り線から県道万力小屋敷線までの約780mの整備を計画しており、安全性の確保と交通の円滑化を図るため、交差部は現状の都市計画決定された線形の変更を予定している。本年4月に関係者を対象に、事業概要や線形変更の理由を説明し、令和7年度の事業化に向けて関係機関との協議が整い次第都市計画法の手続きを進める。

問 山梨市公共交通利用通学者支援補助制度の再開について

本事業は公共交通機関を利用し県外の大学等に通学する学生に対し定期券購入費の一部を助成する制度として、平成29年度から令和3年度まで実施した。

本事業の早期再開に対する見解について。

市長 高木晴雄

答 新型コロナウイルス感染症の補助制度が継続されたことにより、本市の制度再開を望む声もあるため、総合的に判断し、来年度の再開に向けて前向きに検討していく。

問 教育推進コーディネーターについて

①教育推進コーディネーターの県内他市町村の導入状況について。②事務分掌と勤務形態について。

教育長 嶋崎修

答 ①県内における教育推進コーディネーターの導入は、本市が初の試みであり、県教育委員会や他市町村からも注目されており、市教育委員会としてもチームとして支え、時代に即した教育推進に務めていく。②コミュニティスクール、体験型学習の他、義務教育学校の導入や部活の地域移行等を担当しており、市の雇用規定に基づき、会計年度任用職員としているが、任用の延長も視野に入れた雇用形態を考えている。

その他の質問

- 世界農業遺産の今後の展開について
- 自治体DXの推進と対話型生成AIの活用について
- 保育園の四・五歳児の現状と保育士配置基準について



▲峡東地域農業遺産ロゴマーク



問

物価高騰対策について

①原油・原材料高の影響が長期化することを見据えた地域経済等の継続的支援について。②市民生活や企業活動に対する原油、原材料高の影響等、今後の継続的な対応及び支援等について。

市長 高木晴雄

答

①市独自の支援策として、

これまで以上に講じた各種事業者支援策の対象とならなかった業種や、一般の燃料高騰の影響が、市民に及ぶことのないよう「医療機関への物価高騰対策支援金給付事業」、「電力価格高騰に伴う水道事業等公営企業会計補助金給付事業」、「温泉施設等燃料高騰対策支援金給付事業」の3つの事業を先行する。②国からの交付金を最大

限活用して対策を講じるとともに、速やかな対応策が必要な場合においては、基金等の活用も併用しながら、市民の生活を支えていく。

問

笛吹川フルーツ公園指定管理者との事業連携について

①渋滞解消の手立てとして、公園周辺の道路整備や他の施策について。②市と今後、どのように連携を進めていくのか。③「地域全体の活性化や観光振興」の観点から指定管理期間の長期的な運用などの考えについて

市長 高木晴雄

答

①対策には公園設置者である県や公園指定管理者、

関係地権者及び警察などとの協議が必要である。本市としてもシャトルバス運行なども検討するが、引き続き、公園を所管する県に対し、駐車場の増設を要望する。②県など関係団体と公園運営の状況報告や意見交換の場として、「笛吹川フルーツ公園運営調整会議」を組織し、関係する行政機関以外にも地域との連携を深めていく。

③やまなしフルーツパークパートナーズの意向も踏まえ、公園の魅力を高め、地域の活性化や観光振興につながるための更なる投資と、継続した地域貢献事業を行うためにも、ある程度の指定管理期間の長期化は必要と考えており、関係者の理解を得ながら県に働きかける。

問

山梨市民総合体育館の老朽化対策について

①本市の改修計画とスケジュールの概要について。②施設周りの大きく成長した樹木の整備計画について。

生涯学習課長 角田弘樹

答

①本年、改めて施設の状況を確認したところ、予想

以上に劣化の進行が速いことから、早急な対応が必要であることを確認した。可能な限り予定を早め、現地調査と基本設計を行うための予算を今年度9月定例会に上程し、明年度中には改修工事に着手する。②体育館改修時に合わせて効率的に整備を進めていく。

その他の質問

○世界農業遺産1周年に向けて
○自転車ヘルメット努力義務化について



▲山梨市民総合体育館

○新型コロナウイルス感染症の5類移行について
○「出産・子育て応援交付金事業」及び子育て応援事業について
○不適切保育の根絶に向けた本市の取り組みについて
○義務教育学校について
○制服選択制について



問 本市の公共交通の将来像について

①新たな公共交通について速やかな導入が必要と考えるが如何か。②実証実験の予定及びそのエリアと利用者について。③デマンド型交通では持続的運行にあり、市内事業者が望ましいと考えるが、所見について。

市長 高木晴雄

答 ①令和7年度中に新しい交通ネットワークの形態を

市民に示し、多角的検討を行い、速やかな導入に取り組む。②実証運行は全市民を対象に行い、エリアは、利用者のニーズを把握するため、多くの方が利用できる設定を検討する。③運行業者の選定は、市と交通事業者が相互に信頼関係を構築する中で、地域の実態や交通事業者の育成も視野に入れ検討

する。

問 自治体DXの推進及びマイナンバーカードについて

①生成AIのマニユアル等の作成にあたり、タイムスケジュールや問題点について。②生成AIを試験導入したが、業務の効率化は図れたのか。③マイナンバーカードのトラブルが確認された場合の対応及び、マイナ保険証一本化での医療現場の混乱が懸念されるが、本市では如何か。

市長 高木晴雄

答 ①生成AIを含むICT

技術が業務でどのように活用できるか課題の整理と業務での活用方法を研究している。また、情報の漏えい問題や著作権問題等が指摘される中で、安全に使用するためのルールづくり及び使用マニユアルの策定を本年夏までに行う。②全ての所掌する事務の削減には至っていないが、業務の中で汎用性を広げ、効率的で効果的かつ正確な事務に繋がるよう進めていく。③アプリケーション側のミスと人為的なミスがあるが、トラブルが確認された場合は関係機関と連携し、速やかな対応を講じる。また、マイナ保険証は加入者

情報の一本化により、個人病院等のシステム整備の遅れが課題となることから取り上げられているが、市民に対して便利なツールとなるようわかりやすく丁寧な説明を行っていく。

問 介護保険における地域支援事業について

通所型サービスB事業及び高齢者通いの場事業に係る事業継続のための補助金増額等の支援における市の考えについて。

介護保険課長 武井学

答 両事業は、高齢者の趣味

活動や地域住民同士のふれあいを通して、健康維持や生活の質の向上、介護給付の適正化や地域づくりの推進等、複数の効果と役割が期待されており、住民主体のボランティアとして、事業を立ち上げ、地域を支えていただいていることも踏まえ、実施主体に対して聞き取り等を行う中で事業継続に必要な補助金額について検討し支援していく。

問 笛川小学校のスクールバス駐車場(車庫)について

駐車場(車庫)の是正及び入口の屋根やトイレの設置の必要性について。

学校教育課長 磯村賢一

答 車庫は、傾斜の改善策や

排水方法を調査し、対応策を検討する。入口の屋根及びトイレ

の設置についても状況を踏まえ検討する。

その他の質問

- 山梨市投票区の再編について
- 国立公園内における誘客の取り組みとインバウンド対策及び公園内への区域内編入について
- 本市における有機フッ素化合物の検査などについて
- 教職員の勤務実態について



▲笛川小学校スクールバス駐車場(車庫)

一般質問



平 信 議員

日本共産党

問 市営住宅入居時の連帯保証人について

市営住宅入居時の連帯保証人について、生活保護受給者などは保証人の確保が困難である。連帯保証人の廃止あるいは連帯保証人に代えて家賃債務保証業者を認める考えについて。

建設課長 古屋亨

答 滞納家賃増加の懸念などのため現時点で廃止は考えていないが、家賃債務保証業者を連帯保証人として認めることについては、県内自治体の状況を確認し、課題の整理等を行ったうえで検討を進め、家賃債務保証業者が連帯保証人となるための条例の改正案を本年12月定例会に上程していきたい。

問 児童保育の待機児童について

①本市の児童保育の待機児童数について。②待機児童解消のための学校活用状況について。③発生している待機児童解消のための方針について。

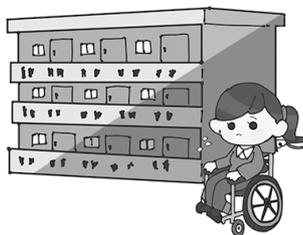
子育て支援課長 古屋真里子

答 ①本年6月1日現在の待機児童数は16名で、市内8地区中、1地区で発生している。

②学校施設や学校施設内に学童クラブを設置しているところは、加納岩小学校、後屋敷小学校、日川小学校、八幡小学校、笛川小学校の5地区である。③他の場所に学童クラブそのものを移転するか、分散した施設の設置を行うか、総合的に検討する必要がある。国の「放課後子ども教室推進事業」、県の「放課後子ども総合プラン」などの取り組みも踏まえ、早急に研究し、検討していく。

その他の質問

- コロナ対策について
- 介護保険について
- 生活保護世帯のエアコン設置について
- 会計年度任用職員の労働条件について
- 国民健康保険税について



▲市営住宅入居時の連帯保証人



萩原弥香 議員

公明党

問 重層的支援体制について

分野別の支援体制では対応しきれない複合的な課題が増えている。

①庁内での体制整備はどのようになっているのか。②窓口への相談体制からアウトリーチでの支援体制の計画について。③支援を必要とする方の実態把握の体制について。

市長 高木晴雄

答 ①令和6年度からの「重層的支援体制整備事業」の本格実施を目指し、庁内検討会議やワーキンググループを設置し準備を進めている。既存の相談事業を生かし相談者の属性を問わず、包括的に相談を受け止める体制の構築を進める。②専門職員が積極的に地域に出向くことができる体制構築が重要となる。地域の方が気軽に参加できる相談会やイベント等の開催も考えている。③制度のはざまにある方などの実態把握には「つなぎ込み」が重要となり、「地域づくりに向けた支援」とし

て、人を繋ぐコーディネート、多様な主体が繋がるプラットフォームの展開などを推進し、実態把握に繋がる体制を構築していく。

問 带状疱疹予防ワクチン接種への助成について

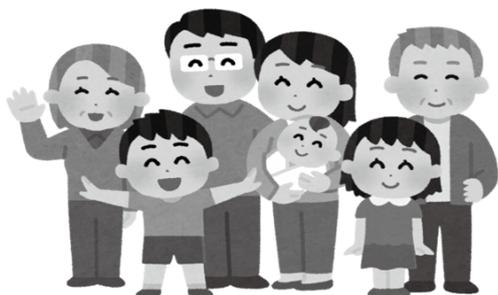
予防ワクチン接種への補助事業実施に向けての見解について。

健康増進課長 矢崎貴恵

答 現在、当該ワクチンは、任意接種となっており、国の定期予防接種に指定されている予防接種以外についての費用補助は現時点で検討していない。

その他の質問

- 今後のコロナワクチン接種体制等について
- 弱視の早期発見及び支援等について





宮川真有 議員

新翔会

問

遠距離介護の支援について

遠距離介護とは、離れて暮らす親族のために遠方から通って介護をすることであり、距離が遠くなるほど、交通費や介護者の負担など、精神的金銭的に大きな負荷がかかる。現在、明確な規定がなく統計なども取られていないため声が届きにくい部分がある。

①本市の遠距離介護の実態について、把握している現状を伺いたい。②遠距離介護の相談窓口、受け皿について伺いたい。

市長 高木晴雄

答

①本市では実態について全てを把握できていないため、日常業務における相談内容を記録し、実態把握に努めている。②介護保険課内に設置している「地域包括支援センター」は高齢者と介護者を支える「総合相談窓口」として、遠距離介護を含む介護全般の困りごとや、電話による相談対応、自宅訪問での安否確認などの対応を随時行っている。また、令和4年度より福祉分野の

問

教員の多忙化について

実証事業で、遠方に住む家族が宅内環境の変化を確認しながら見守る仕組みである「高齢者見守り事業」も実施しており、遠距離介護の親族が孤立しないように、一人ひとりの介護環境に寄り添った支援が行える体制を整えていく。

教員不足は大きな課題であり、本市においても、市内の学校は夜遅い時間でも明かりがつき例外なく教員の多忙化の現状があると感じる。多忙化により、児童生徒の多様化する対応に慮えられない部分も出てきてしまい、児童生徒及び教員にも安心安全な学校でなくなってしまうことが懸念される。

具体的な改善策があれば伺いたい。

学校教育課長 磯村賢一

答

既存の会議等の見直しや午後6時過ぎの学校への連絡を控え、緊急の連絡は市教育委員会が集約して学校へ連絡するなど保護者に理解を求めた。また、部活動の地域移行と併せ、教員や学校が抱えていた仕事や役割を地域や企業との連携により、分散・分担させることを狙いとした「ECHOS学習」を進めるなど、学校現場に耳を傾け、実態に即した改善を推し進める。

その他の質問

〇わが市の特別支援教育について



土屋裕紀 議員

新翔会

問

下水道の不明水対策状況について

本市の下水道の有収率は非常に低く、昨年の下水道料金の値上げ増収見込み2,500万円に対し、原因の分からない不明水の処理費用、年間7,000万円程の支払いはあまりにも大きく、もっとスピード感をもって取り組むべき課題であると指摘してきた。

①令和4年度の不明水処理費用と不明水対策実績と効果について。②既存計画から更にスピードを上げ、特別な対策を講じて取組むべきと考えるが今後の対応について。

市長 高木晴雄

答

①不明水処理費用は約6,718万円。有収率は令和4年度75.17%で令和3年度から2.07%向上し、約766万円の効果があった。②早急に対策を進める為、実態調査と詳細調査を同時進行し、修繕箇所は対応している。大きな要因が特定された場合は、即時に特別な対策を講じていく必要があると考えている。

問

中学校プール施設と部室の今後の活用について

中学校プールの老朽化と授業実態に伴い、プール授業は市宮施設を利用することで改善した。一方でプールが学校敷地のデッドスペースとなり、プール下の部室や用具庫は老朽化が著しく耐震構造も満たしていない。プール跡地の活用と部室の展望について。

学校教育課長 磯村賢一

答

プールは解体し、学校の意見も聞きながら有効な活用策を研究する。部活動の地域移行を見据え、新たな部室の建替の必要性と用具庫建設も併せて検討する。

その他の質問

- 〇ピーチライン交差点の信号改善について
- 〇日川緑地の維持管理と今後の活用について
- 〇小中学校トイレの洋式化について



▲河川敷にある日川緑地

一般質問



星野 洋 議員

尚志会

問 落合地内市道14009号線の道路改良と同地内で予定されている畑総事業との整合について

答 ①災害が発生した際に現状の道路幅員では機能上支障をきたすと思われるが、本市道の改良予定はあるか。②本市道の改良にあたり、畑総事業内道路との接続を検討する中で、西関東連絡道路と交差するボックスカルバートからフルーツ公園にアクセスする道路の今後のスケジュールについて。

市長 高木晴雄

答 ①令和6年度より、当該路線の改良事業を実施するため、現在、県など関係機関と協議を進めている。②畑地帯総合整備事業における令和5年度の整備予定箇所は、フルーツラインから南下する農道約200m区間の測量設計等を実施し、事業全体の最終年度は令和11年度を予定。

問 熱中症対策について

①気候変動適応法改正における、基本計画策定について



▲熱中症対策

答 ②特別警戒情報が発表された場合、シエルターとなる施設を市区町村長が指定したうえで一般開放するようであるが、どのような施設が考えられるか。③大塚製菓㈱との間で包括連携が結ばれ、熱中症対策を進めていきたいとの説明があったが、具体的に伺いたい。健康増進課長 矢崎貴恵

答 ①庁内体制を構築し、広域連携も視野に入れ、地域気候変動適応計画の策定を検討していく。②当面は市が管理する公共施設を中心に指定する方向で検討している。③大塚製菓㈱が実施する「熱中症アンバサダー講座」の開催や市役所本庁舎等に設置するクーリングスポットにおける会社提供のリーフレット等を用いた学習を行う予定。

その他の質問

- 本市の子育て支援について
- ごみ屋敷対策について
- 統括監について
- 本市の将来について



小野鈴枝 議員

市民クラブ

問 エコハウスの子育て支援等も含めた今後の活用について

市民のためにエコハウスの子育て支援等への活用を提案するが如何か。

環境課長 中村直喜

答 「エコハウスやまなし」は、環境省の「21世紀環境共生型住宅のモデル整備による建設促進事業」により、平成22年4月にモデルハウスとしてオープンした。令和元年度までは、NPO法人に管理・運営を委託し、エコハウスを活用した勉強会やエコライフ推進のための講座等を実施し、現在は事業目的であるモデルハウス機能を維持したまま、予約による施設見学の受け入れ、移住希望者へのお試し住宅等の活用を図っている。子育て支援等を主な目的として使用する場合は、補助対象事業の目的外使用となり、国との協議が必要となる。エコハウスの機能は維持しつつ駅前前立地を生かした様々な施設活用策の検討を図っていききたい。



▲エコハウスやまなし

問 DV被害者の支援について

市営住宅の空き部屋をシエルターとして利用することができないか。

福祉課長 大沢和洋

答 被害者を緊急的に避難させる必要がある場合には、女性相談所が所管するシエルターを一時的に利用し、その後の相談により安全な居住先を探していたただく中で、市営住宅へ入居する際は国土交通省住宅局長からの通知に基づき優先的かつ柔軟な対応をしている。シエルターとしての市営住宅の使用については「定住促進住宅」の使用が可能であるため、今後検討していく。

その他の質問

○本市における女性の人口動態を踏まえた少子化対策について



武井寿幸 議員

新翔会

問 山梨市地域公共交通計画について

①公共交通の利便性向上のためなどのような対策を検討されているのか。②本計画にあるデマンド型交通について。

市長 高木晴雄

答 ①令和3年度に「公共交通に関するアンケート調査」を行い、バス停まで遠い、利用したい時間にバスが無いなどの意見があったため、市民バスとデマンド型交通を組み合わせた新たな公共交通ネットワークを再編し、持続性のある公共交通を目指していく。

②AIシステムの導入により、スムーズな予約手続きを可能とし、乗降場所や移動時間等が可視化できるようにする。また、体験説明会の開催や電話予約も可能とするなど、多くの方に利用してもらえよう取り組んでいく。

問 人口減少社会に対する本市の人口ビジョンについて

①人口減少課題に対する将来の人口ビジョンについて。②人口減

少に伴う今後の本市の行政対応について。

市長 高木晴雄

答 ①本市の人口ビジョンでは、戦略的に施策を講じることで、2040年に約3万人、2060年には約2万5千人を維持する推計値としている。②国や県と歩調を合わせた新たな総合戦略へ改定して進めていく。なお、6月に県において「人口減少危機突破宣言」を発出し、県内自治体と民間企業が連携した取り組みを進めることとしたため、本市も県施策と歩調を合わせ、人口減少問題に取り組み考えである。

問 鼓川に架かる久保橋など小規模な橋の改修について

久保橋利用者から橋の架け替えの要望があるが、市の考えについて。建設課長 古屋亨

答 久保橋は、今年度法定点検のため、結果に応じて必要な措置が求められた場合には検討していく。

その他の質問

○牧丘西保スポーツ広場について



▲架け替え要望がある久保橋

スーシティ市来訪

令和5年6月22日、山梨市の姉妹都市であるアメリカ合衆国アイオワ州スーシティ市から、モーニングサイド大学の学長夫妻及び大学関係者が来訪しました。滞在期間中は、市長表敬訪問の他、市内小中学校の視察や山梨市議会議場の見学などを行いました。



▲議場での記念撮影

総務常任委員会

付託議案

- 議案第50号 専決処分の承認を求めることについて(山梨市税条例の一部を改正する条例について)
- 議案第51号 専決処分の承認を求めることについて(山梨市都市計画税条例の一部を改正する条例について)
- 議案第52号 専決処分の承認を求めることについて(山梨市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について)
- 議案第53号 専決処分の承認を求めることについて(令和5年度山梨市一般会計補正予算(第1号)関係付託部分)
- 議案第54号 山梨市諏訪財産区管理会条例について
- 議案第55号 山梨市西保財産区管理会条例について
- 議案第56号 山梨市特別職の職員で非常勤のものへの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について
- 議案第57号 山梨市手数料条例及び山梨市印鑑条例の一部を改正する条例について
- 議案第60号 令和5年度山梨市一般会計補正予算(第2号)関係付託部分
- 議案第63号 日下部分団第3部消防ポンプ自動車購入契約について

総務常任委員会

- ◎岩崎 友江 ○遠山 雄二
- 木内 健司 村田 浩
- 藤巻 豊彦 土屋 裕紀

○「議案第56号 山梨市特別職の職員で非常勤のものへの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について」

問

選挙の投票所の立会人について、負担軽減を図るため、半日交代が可能となるよう条例を改正するようであるが、半日交代となつた場合、投票に関する守秘義務は守られるのか伺いたい。

答

投票に係る守秘義務は、非常に重要なことであるため、特別職の公務員の立場になる投票立会人には、守秘義務の遵守をお願いし、周知徹底を図ってきたい。

○「議案第57号 山梨市手数料条例及び山梨市印鑑条例の一部を改正する条例について」

問

コンビニ交付サービスやマイナンバーカードの他、スマートフォンでも利用できるよ

うにするための条例改正となつて

いるが、マルチコピー機による利用は、どのくらいあるのか。また、コンビニ交付は申請全体では何%程度あるのか伺いたい。

答

マルチコピー機によるコンビニ交付件数については、令和4年度末で6,008件の利用があつた。前年は3,000件程度であつたので、倍近く増えている状況である。また、申請全体では昨年度約3万8,000件余の申請に対して約6,000件の利用があつたため、約15.5%がコンビニ交付となつている。

○「議案第60号 令和5年度山梨市一般会計補正予算(第2号)関係付託部分について」



▲総務常任委員会での審査の様子

問

歳出、9款消防費、1項消防費のうち、一般管理経費について、緊急性の低い救急車の出動件数が年々増加していることから、本年10月より県と県内27市町村共同設置で、緊急安全センターを設け、救急医療の電話相談を開設することにより、救急車の出動回数を減らしていこうとのことであるが、県や市町村で削減目標とする数字はあるのか伺いたい。

答

この10年間で27%の増になつたため、概ね3割減くらいを目標としている。ただし、この2、3年はコロナの影響により数字が当てにならないということもあり、10年前と比較して実際どの程度減るのかわかりにくいところもあるので、今後、運用しながら目標の設定をする必要があると思われる。

○「議案第63号 日下部分団第3部消防ポンプ自動車購入契約について」

問

消防ポンプ車両の更新にあたり、今使用している消防ポンプ車両は譲渡するのか、廃車するのか伺いたい。

答

今回更新する日下部分団第3部の現消防ポンプ車両については、取得が平成6年3月であり、登録から30年近く経過しているため廃車する予定である。

※現地調査として、「マイナンバーカード対応記憶台」及び「走行ロボットによる案内サービス実証実験」の視察を行った。



▲走行ロボットによる案内サービスの視察の様子

建設経済常任委員会

付託議案

議案第58号 山梨市乾徳公園設置及び管理条例及び山梨市観光駐車場設置及び管理条例の一部を改正する条例について

議案第59号 山梨市花かげの郷まきおか「鼓川温泉」設置及び管理条例等の一部を改正する条例について

議案第60号 令和5年度山梨市一般会計補正予算(第2号)関係付託部分について

議案第61号 令和5年度山梨市水道事業会計補正予算(第1号)

議案第62号 令和5年度山梨市簡易水道事業会計補正予算(第1号)

建設経済常任委員会

◎星野 洋 ○萩原 弥香
 宮川 真有 古屋 弘和
 武井 寿幸 小野 鈴枝

保するため、今議会において繰越明許費を設定するものである。

○「議案第60号 令和5年度山梨市一般会計補正予算(第2号)関係付託部分について」

問 歳出、6款農林水産業費、1項農業費のうち、農地利用集積推進事業及び新規就農者育成総合対策事業について詳細を伺いたい。

答 農地利用集積推進事業は、農地中間管理機構を利用して遊休農地を貸借した際の、再生作業経費に対する10アールあたり上限20万円までの補助事業が、県の要領改正により、10アールあたり上限40万円まで拡充されたため、それに対応するために補正するものである。また、新規就農者育成総合対策事業については、農業用機械等の導入を支援する経営発展支援事業を活用する新規就農者2人分の経費を補正するもので

ある。

問 歳出、7款商工費、1項商工費のうち、商工業活性化事業経費の温泉施設等燃料高騰対策支援事業2,500万円余について詳細を伺いたい。

答 昨今の燃料費の価格高騰による影響を軽減するため、旅館業法のうち『旅館・ホテル営業』または、公衆浴場法の適用を受ける市内の事業者等に対し、国からの交付金を活用し支援金を交付する事業である。補助対象経費は温泉等を加温するために購入・使用した灯油、A重油、電力で、あらかじめ設定した補助単価に基づき1施設あたり250万円を上限とする。

問 歳出、8款土木費、4項都市計画費のうち、山梨市駅南地域整備事業経費の詳細及び

事業進捗への影響について伺いたい。

答 都市計画道路加納岩小学校前通り線の交差点において試掘を行ったところ、埋蔵文化財があることが判明したため本掘調査を実施するものである。事業進捗への影響については、当該調査の支障がない部分の工事を進めるため、遅延等は発生しない見込みである。

問 繰越明許費を設定する橋7,300万円について、詳細を伺いたい。

答 当該事業について、神徳橋の耐荷耐震・拡幅工事を実施するものであるが、河川内での工事着手を湯水期となる11月としていることから、適正工期を確



▲建設経済常任委員会での審査の様子

教育民生常任委員会

付託議案

議案第53号 専決処分の承認を求めることについて(令和5年度山梨市一般会計補正予算(第1号)関係付託部分)
 議案第60号 令和5年度山梨市一般会計補正予算(第2号)関係付託部分

教育民生常任委員会

◎矢崎 和也 ○向山 輝
 深沢 敏彦 糠信 平
 三枝 正文

○「議案第53号 専決処分の承認を求めることについて(令和5年度山梨市一般会計補正予算(第1号)関係付託部分について)」

問 歳出、3款民生費、1項 社会福祉費のうち、低所得世帯に対する物価高騰対策支援金給付事業経費について、支援金の給付を受けるために必要な提出書類について伺いたい。

答 住民税非課税世帯であること等の確認書と、転入等により市が非課税世帯かどうかを確認できていない世帯に対して申請書を提出していただく。

○「議案第60号 令和5年度山梨市一般会計補正予算(第2号)関係付託部分について」

問 歳出、3款民生費、2項 児童福祉費のうち、保育所

一般経費について、窪平保育園児共同保育のために岩手保育園への送迎バスを利用する世帯数について伺いたい。また、どのような車両で運行しているか伺いたい。

答 送迎バスを希望している世帯は5世帯7名である。車両は、市の公用ワゴン車を送迎用として利用している。

問 歳出、4款衛生費、1項 保健衛生費のうち、保健衛生総務管理費について、医療機関に対する物価高騰対策支援助交付金の算定方法について、山梨市独自のものがあるか伺いたい。

答 各市町村独自の交付金であり、算定方法は山梨市独自のものである。なお、基本割の20万円に関しては、甲州市でも同様の金額を予定していると伺っている。

問 歳出、4款衛生費、1項 保健衛生費のうち、環境衛生事業経費について、猫の不妊・去勢手術について、頭数制限はあるか伺いたい。また、手術を行った場合は、さくら猫として耳をカットするのか伺いたい。

答 猫の不妊・去勢手術について、頭数制限はない。飼主のいない猫の場合は、手術を実施したことが分かるように、耳の先端をカットする。

問 歳出、10款教育費、2項 小学校費及び、3項中学校費のうち、スクールバス運行事業経費について、置き去り防止安全装置の設置は、市内すべてのスクールバスに設置されるのか伺いたい。

答 市内すべてのスクールバスに設置する。スクールバス

又は、小学校4台、中学校3台の計7台である。



▲教育民生常任委員会での審査の様子

議会活動日誌

6月

- ・令和5年6月定例会（6月1日～6月29日）
- ・令和5年度山梨市中小企業労務改善協議会総会（2日）
- ・第28回万葉うたまつりとホタル観賞会式典（9日）
- ・第99回全国市議会議長会定期総会（14日）
- ・民生委員・児童委員及び主任児童委員委嘱式（21日）
- ・議員全員協議会（15日、28日、29日）

7月

- ・第19回山梨市少年野球大会（1日）
- ・笛吹川フルーツ公園野外ステージ
リニューアル記念コンサート（2日）
- ・教育委員会委員任命式（3日）
- ・愛媛県西予市議会行政視察対応（5日）
- ・第3回全国桃サミットinやまなし（6日）
- ・正副議長就任挨拶回り（10日）
- ・令和5年度リニア中央新幹線
建設促進山梨県期成同盟会総会（19日）
- ・山梨市夏をどりフェスティバル（22日）
- ・第64回笛吹川県下納涼花火大会（22日）
- ・議員全員協議会（25日）



8月

- ・令和5年度山梨県市議会議長会
議員合同研修会（前期）（4日）
- ・第20回鼓川温泉灯ろう祭り（6日）
- ・令和5年度西関東連絡道路
整備促進期成同盟会総会（8日）
- ・中牧地区納涼盆踊り大会（15日）
- ・笛吹川源流まつり（20日）



議員活動報告

令和5年7月6日、「第3回全国桃サミットinやまなし」が本市で開催され、市議会議員も参加しました。サミットでは、農業を取り巻く課題や問題に対し、情報収集と共有化を図り、産地が抱える課題等について意見交換を行いました。



▲第3回全国桃サミットinやまなしの様子

9月定例会開催予定

- 8月31日(木) 本会議（開会）
- 9月14日(木) 本会議（代表質問）
- 15日(金) 本会議（一般質問）
- 19日(火) 常任委員会
- 20日(水) 決算特別委員会
- 21日(木) 決算特別委員会
- 22日(金) 決算特別委員会
- 29日(金) 本会議（閉会）

※全日程午前10時から開会予定
（決算特別委員会は、午前9時から開会予定）

「QRコード」読み取りで会議録などの情報を見ることができます。



編集後記

日頃より「議会だより」に関心を頂きありがとうございます。

6月定例会の内容を中心に編集してお届けいたしました。

私共市議会は常に議会改革に取り組んでおります。

1年間に配布される会議資料等を積み上げると、1m近くになります。

紙資源の使用削減のため又議会運営の効率化のため議員全員にタブレット端末が貸与されました。

慣れるため私共は奮闘中です。

武井 寿幸

議会だより編集委員会

委員長
副委員長
委員

岩崎 友江
矢崎 和也
小野 鈴枝
武井 寿幸
土屋 裕紀
萩原 弥香